

森岡地区拠点施設基本構想・基本計画 第1号 かわらばん

講演会 「事例に学ぼう！ 地域の拠点づくり勉強会」

開催日時：10月13日(日) 10:00~12:00
@森岡小学校 体育館

今後の予定		
済 講演会	10/13(日)	事例に学ぼう！
▷ DAY1	11/4(月祝)	まちの魅力を再発見！
▷ DAY2	2/8(土)	物語をつくろう！
▷ DAY3	R7.7 予定	描こう！地域の拠点

10月13日曜日の午前、森岡小学校体育館で、講演会「事例に学ぼう！地域の拠点づくり勉強会」を開催しました。森岡地区住民や森岡小学校職員等、55名の方にご参加いただきました！

まず、これまでの経緯等を共有したあと、複合拠点整備についての説明を受けた上で、名市大鈴木先生より、事例を基にした学校整備のあり方についてお話いただき、最後には参加者同士で「今日印象になったこと、拠点施設こうなったらいいな」を共有しました。地域の課題解決、森岡らしい拠点施設整備に向けた、素晴らしいスタートができました！

3 おはなし「事例に学ぼう！複合拠点整備って？」 名古屋市立大学の鈴木先生より、学校建築事例を基にして、昨今の学校整備のあり方や、森岡地区拠点施設整備に向けた課題解決のポイントをお話いただきました。

<p>・多様化する学校の計画：「社会の変化」「安全の確保」「地域との協働」「教育の変化」 → 不確実な将来に向け、今、地域が取り組むべき「まちづくりの宿題」</p> <p>【事例】豊田市 浄水北小学校</p> <p>子どもの成長を地域と連携・協働して支える学校。いつでもだれでも利用可能な地域学校共働本部を設置し、地域コーディネーターを配置。</p> <p>・地域「共働」型学校： ・地域×中学校： 地域住民が定期的に検討会を実施。敷地周辺の雑木林の活用をボランティアが計画、子どもたちと一緒に整備</p>	<p>【事例】豊田市 浄水中学校</p> <p>「交流館の人がいたら勉強できない」等の反対意見。 ・交流館との複合： →中学生ワークショップを実施。「なんで交流館と一緒にダメなの」という意見で、大人たちの考えも変わった。</p> <p>・交流館との複合： エントランスの大屋根部分を共同スペースとして活用。イベント等で活躍し、学校を地域に取り込むことに成功。</p>
--	--

1 オープニング、「公共施設の現状・課題」

企画政策課 榊原課長より、あいさつがありました。

本日持ち帰ってほしいことは、「公共施設マネジメントは大事！」「複合拠点整備を“ポジティブ”に！」「自分ゴト」「みんなゴト」として一緒に創り上げよう！」の3つです。ぜひみなさんで、こんな施設だったら使いたい、こんな使い方ができたらいいな、を考えていきましょう！



△企画政策課 榊原課長

事務局より、公共施設の課題と方針について説明がありました。

→学校を見守り続けることができるのは地域の皆さん

ポイント① 森岡の良さを見つける	ポイント② 将来の社会変化を想像し共有する	ポイント③ 将来この地域でどんな生活をしたいか	ポイント④ 使い方から考える	ポイント⑤ 現在の施設機能の維持に固執しない	ポイント⑥ 仲間を集めて知恵を出し合う
---------------------	--------------------------	----------------------------	-------------------	---------------------------	------------------------

超難しい課題です。知恵を出し合って考えましょう！



△名古屋市立大学 鈴木先生

4 「えんたくん会議」 “おはなしで印象にのこったこと”、“森岡地区拠点施設こうなったらいいな”を付箋に書いて共有し、各グループのうちのイチオシ！キーワードをきめました。

○公共施設を維持するには限界が来ている
公共施設マネジメントの取組み：「東浦町公共施設再配置計画」

方針
小学校を中心に各地区機能をまとめて拠点化
「複合化・集約化」「共有化・多目的化」により
既存面積の総延床面積よりも『30%以上』の面積削減

<p>①グループ 多世代交流 みんなで集える学校、地域のみんなで見守れる</p>	<p>②グループ 発展型 オープンスクール (フリースクール 含む) 多世代の居場所づくり 交流ゾーンの実現、完成させない施設、子どもたちの意見</p>	<p>③グループ 各世代が気軽に集える場所 町民が使いやすい、学校・仕事帰りにお茶を、交流できる場</p>
<p>④グループ シン多世代交流 誰でも・いつでも、行政に頼らない、地域の自慢になるように</p>	<p>⑤グループ もりおか オジナルプラザ!! みんなのブドウ畑、歴史とともにある学校、全国のモデル地区</p>	<p>⑥グループ あ！森岡元気だな!! 地域の人の顔が見える、オープンスクールから一步先へ</p>
<p>⑦グループ 自分ごと (自分たちで管理する!!) “好き”が集まる場所、人々が集まれる企画立案、学生も運営</p>	<p>⑧グループ 気軽に立寄れる だれでも気軽に使用できる、地域と一緒にだから安全、にぎやか</p>	<p>⑨グループ 人生の先取り授業 (金融・投資・IT等) 大人になって学ぶ事を授業に、ボランティア、お祭り会場に</p>

○鈴木先生からの講評

- ・交流して分かり合えることが、豊かな人生のために大事
- ・一般解はなく、森岡だからこう解決するというのが大切
- ・セキュリティ対策は、ハードとソフトを組み合わせる
- ・本事業は、新しい仕組みをつくる大きなきっかけだと思っている。難しい課題だが、頭を柔らかくして考えていきたい。

○ひとことアンケートより
地域がつながっていきける可能性を感じた、地域の方の多くが多世代交流を望んでいる、セキュリティが心配という意見はある、自分達で考えることが大事、地域のことは地域住民で考えよう！ など

2 おはなし「事例に学ぼう！複合拠点整備って？」
「複合化・集約化の魅力、効率的な運用」

日本工営都市空間の澤崎さんより、事例を踏まえたお話がありました。

○複合化・集約化の効果

- ①機能の異なる施設間の相乗効果の創出、コミュニティ拠点の形成
- ②合理性・効率性の最大化(諸室の相互利用や維持管理・運営の一体化)
- ③コスト削減(インシヤルコスト・ランニングコストの削減)

○森岡地区の拠点形成に向けて
モデル事業として、単なるイチ施設ではなく、森岡の拠点を作っていく
→まちづくり(学び・交流・防災)拠点の形成

<p>住民 行政任せでなく、地域や住民任せでもなく、共創・共発的に</p>	<p>行政 雑居ビルにならないために早期の体制構築、参画体制を</p>
--	--



○次回のご案内
地域の拠点ワークショップ DAY1
「まちの魅力を再発見！」
11月4日(月祝) 9:30~
@森岡小学校 体育館
お申し込みはこちらから▷



お問合せ：東浦町役場 企画政策課 施設マネジメント係
TEL :0562-83-3111
Mail:kikaku@town.aichi-higashiura.lg.jp